

<別冊 1－1>

防護具着脱手順

（高病原性鳥インフルエンザ・豚熱・アフリカ
豚熱の場合）

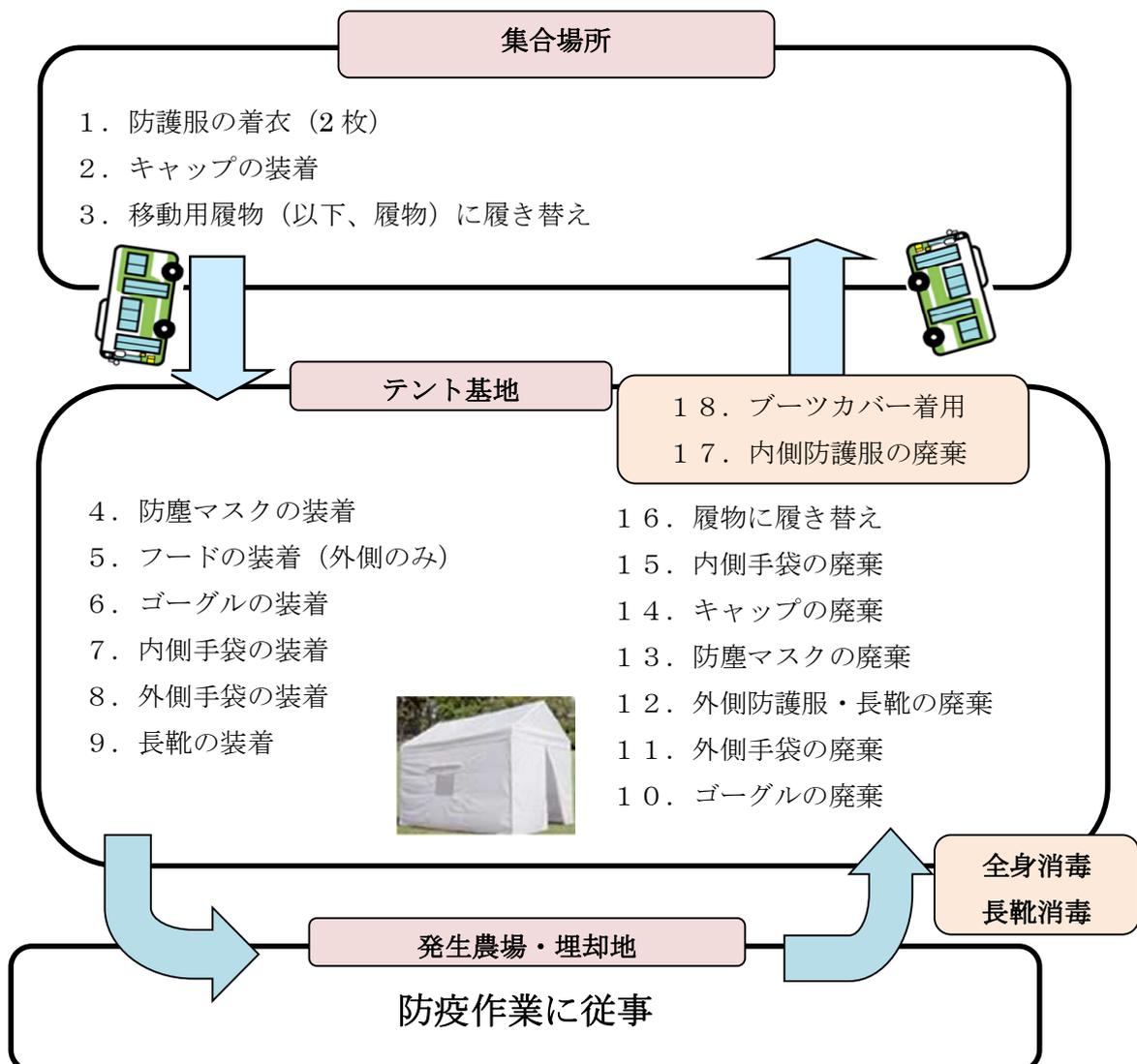
防護具着脱手順

1 防護具着衣目的

病原体や刺激性のある消毒薬から作業者を守り、病原体を農場の外に持ち出さないために防護具を着用する。

2 防護服着脱の流れ

防護服は、以下の流れで着脱を行う（詳細は「着脱方法」参照）。



3 防護具着脱方法

(1) 着衣方法

ア 集合場所

<必要物品>

- 防疫作業従事者が準備するもの
動きやすい作業用衣服、丈の長い靴下
(洗濯可能なもの)
- 支給されるもの
防護服 2枚
ディスポキャップ (キャップ)
移動用履物 (履物)
簡易マスク (必要に応じて)



図1 集合場所での必要資材

※豚熱・アフリカ豚熱の場合、暑熱時の防護具の簡略化（防護服の1枚着など）は県対策本部が判断する。

※農場への移動前に、トイレ等は済ませておく

※すべての手荷物（貴重品、携帯電話、着替え、靴等）は、従事者番号を記入した荷物袋（黒ビニール袋）に入れて、集合場所で保管する。

(ア) 防護服2枚ともに前面と背面に従事する作業クール、班および氏名を油性マジックで記入する。

※ 前面は縦書き、背面は横書きを推奨。

| | | |
|-------|-------|------------|
| (例) | | 記入 |
| 作業クール | 第1クール | ① |
| 班 | 農場1班 | N 1 |
| | サポート班 | サ |
| | 埋却地班 | ま |
| 氏名 | | 名字のみ、カタカナ可 |

(イ) ズボンの裾が広がらないように、靴下の中にズボンの裾を入れ込む。

(ウ) 防護服2枚を着用。1枚目の内側防護服のフードは中に折り込む。

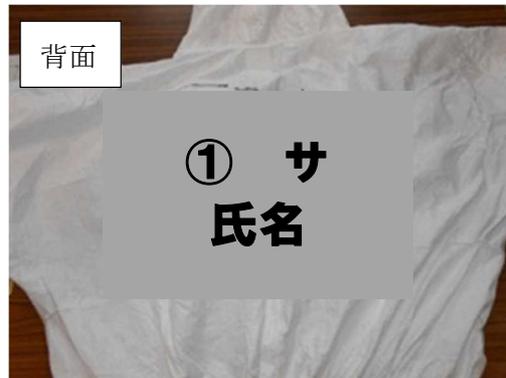
※防護服のファスナーカバーはまだ貼付けないこと。

(エ) キャップを装着。髪の毛、耳を覆う。

(オ) 移動用の履物に履き替える。

※必要に応じてバス乗車時にブーツカバー等を使用する。

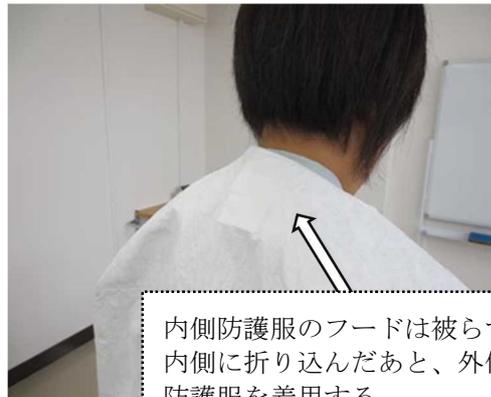
(ア)クール数、班、氏名の記入(2枚とも 前面と背面)



(イ)靴下の中にズホンの裾を入れ込む



(ウ)防護服(2枚)着用



※防護服のテープは貼り付けない

(エ)キャップの装着



髪の毛と耳を覆う

イ テント基地

＜必要物品＞

- 防塵マスク（※）
- ゴーグル（※） くもり止めを塗っておく
- 内側手袋
- 外側手袋
- 長靴
- 養生テープ等



図2 テント基地での必要資材

（※）豚熱・アフリカ豚熱の場合

- ・マスク：簡易マスクでも可とする。ただし、消石灰等の粉塵が舞う作業を行う場合は、防塵マスクを着用する。
- ・ゴーグル：装着によって危険が伴う場合は、目を覆っていない状態でも可とする。ただし、消毒作業を行う場合は着用する。

【着衣テント①】

- （ア）防塵マスクを装着。（テント基地まで着用した簡易マスクは破棄）
鼻のワイヤー部分は隙間のないようフィットさせる。
- （イ）防護服のフードを装着。
- （ウ）ファスナーカバー（顎および前面）のテープを貼り付ける。
テープが付属していない防護服は、顎および前面を養生テープ等で張り付ける。
- （エ）ゴーグルを装着。
- （オ）内側手袋を装着。外側手袋をスムーズに装着するため、手袋の手首部分は、1枚目の防護服の袖の上に被せる。
- （カ）外側手袋の装着およびテーピング（テーピングはサポート班員が実施）
養生テープ等で隙間のないよう2回程度巻き、テープの端は外しやすいよう折り返しておく。

【着衣テント②】

- （キ）履物を脱いでブルーシート等に上がり、その先で長靴を装着する。
- （ク）長靴の装着およびテーピング
外側の防護服の裾を膝まで上げる。
内側防護服の裾は長靴の中へ、外側防護服の裾は長靴の外へ出す。
膝部分にゆとりをもたせ、外側防護服の裾と長靴を養生テープ等で隙間のないよう2回程度巻き、テープの端は外しやすいよう折り返しておく。

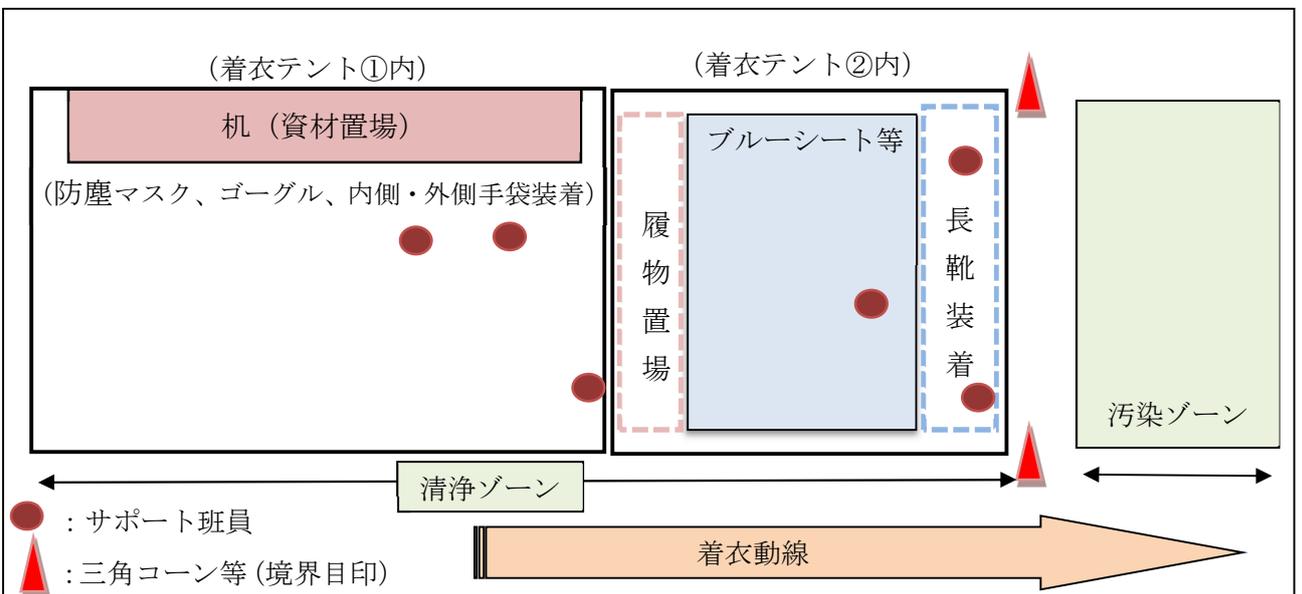
※サポート班の作業・服装

- ・ 防疫作業従事者の防護資材の準備等（ゴーグルの曇り止め塗布作業含む）
- ・ 清浄ゾーン内のサポート班員は、集合場所で着衣した服装で行う。
- ・ グレーゾーン内のサポート班員は、防疫作業従事者の服装からゴーグル、外側手袋を除いた服装で作業を行い、防塵マスクの代わりに簡易マスクを使用する。
- ・ 全身消毒や車両消毒を行うサポート班員は、汚染ゾーンとの境界で作業を行うため、防疫作業従事者と同様の防護具を装着して作業を行う。

| | |
|---|--|
| <p>(ア)防塵マスクの装着</p> | <p>(イ)フード(外側のみ)の装着 (ウ)ファスナーカバーの貼付け</p> |
|  <p>鼻のワイヤーをフィットさせる</p> <p>ゴムは1本ずつ頭頂部と耳の後ろに付けるマスクをおさえて深呼吸し、空気の漏れがないか確認</p> |  <p>髪の毛等が出ていないか確認</p> <p>ファスナー部分をテープで貼り付け（付属テープがない場合は養生テープ等で固定）</p> |
| <p>(エ)ゴーグルの装着</p> | <p>(オ)内側手袋の装着</p> |
|  <p>顔にフィットさせる 鼻の部分に隙間がないよう注意</p> |  <p>内側防護服の袖に被せる</p>  <p>手袋の上に外側防護服を被せる</p> |



図3 テント基地における防護具装着動線



注) 長靴を再利用する場合は、着衣テント②はグレーゾーンとなる。

(2) 脱衣方法

ア 汚染ゾーンとグレーゾーンの境界部

(ア) 動力噴霧器等を用いた全身消毒を実施する。(500倍希釈パコマ)

※頭部は蓄圧噴霧器でも可。

(イ) 防疫作業従事者は、図4のように手を広げ、前側、後側、長靴の底の順番に消毒を受ける。

(ウ) 長靴の消毒を実施する。最初に人工芝入り消毒槽で靴底の泥落としと消毒を行い、次に人工芝の入っていない消毒槽で洗車ブラシを使用して長靴全体を消毒する。



図4 全身消毒

動力噴霧器

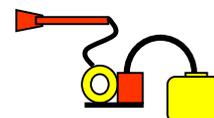


図5 長靴消毒

イ グレーゾーン

※脱衣は、2例に並んで順番に進みながら実施する。

(ア) 外側手袋の上からスプレーで手指消毒を実施する。

※手指消毒の作業は、グレーゾーン内のサポート班員が実施する。足踏み式消毒スタンドを設置する場合は、各自で消毒する(以下、同じ)

(イ) ゴーグルを外し、廃棄物容器に入れる

(ウ) 外側手袋の養生テープ等をはがし、廃棄物容器に入れる。

続いて、外側手袋を脱ぎ、廃棄物容器に入れる。この時、内側手袋で外側を触らないように注意して、手をすり合わせ、廃棄物容器内に落とすように脱ぐ。

(エ) 内側手袋の上から、再度手指の消毒を実施する。

(オ) 外側防護服のファスナーカバーを外し、ファスナーを下ろす。

この時、外側防護服の外側に極力触れないようにする。サポート班員は、脱衣をサポートし、場合によってはテーピングを外す。

(カ) 内側手袋の上から、再度手指の消毒を実施する。

(キ) 外側防護服を脱ぐ。外側防護服の内側に手を入れ、中表になるように脱衣する。サポート班員は、外側防護服の内側を持って脱衣をサポートする。

※外側防護服に破れ等あれば、この時に内側防護服の消毒を行うか、程度により内側防護服も脱衣を行う。

(ク) 脱衣と同時に外側防護服についたままの長靴も脱ぎ、ブルーシート等にかかる。

- (ケ) ブルーシート等の上で、手指消毒を実施する。
- (コ) 防塵マスクを外し、廃棄物容器に入れる。この時、首の後ろのゴム、頭頂部のゴムの順で1本ずつ後ろのゴム部分を持って外す。
- (サ) キャップを外し、廃棄物容器に入れる。この時、キャップの頭頂部をつまんで外す。
- (シ) 手指消毒を実施する。
- (ス) 内側手袋を中表に脱ぎ、廃棄物容器に入れる。初めに、利き手側手袋の外側を持ち、裏返ししながら中表に脱ぐ。次に、手袋を脱いだ利き手で、反対側の手袋の内側から裏返すように脱ぐ。
- (セ) 手指消毒を実施する。
- (ソ) 移動用の履物に履き替える。

※脱衣手順の中で、手指を汚染したと思われる場合は、その都度手指消毒を行う。

(サポート班員も脱衣サポート時はその都度手指消毒を行う)

※脱衣した防護服および長靴は、作業の妨げにならないよう後方に配置する。

※長靴を再利用する場合は、防疫作業従事者の退出時にサポート班員が長靴から防護服を外し、防護服は廃棄する。長靴と防護服の分離作業には、ハサミ等を利用することで、作業の効率性を図る。長靴はサポート班員が消毒し、グレーゾーンの着衣テント側に運搬する。

| | |
|--|---|
| <p>(ア)手指消毒(外側手袋)</p>  | <p>(イ)紐を持ってゴーグルを外す</p>  <p>後ろのゴム紐部分を持って外す</p> |
| <p>(ウ)養生テープをはがし、外側手袋を脱ぐ</p>  <p>防護服が破れないよう注意</p> <p>内側手袋で外側手袋に触れないよう脱ぐ</p> | <p>(エ)手指消毒(内側手袋)</p>  |
| <p>(オ)カバーのテープをはがし、ファスナーを下ろす</p>  <p>外側防護服の表面に極力触れないよう、カバーの内側を指先で広げるようにはがす</p> | <p>(カ)手指消毒(内側手袋)</p>  |

| | |
|--|--|
| <p>(キ)外側防護服の内側に手を入れ、中表になるように脱衣する。</p> | <p>(ク)外側防護服ごと長靴を脱ぎ、ブルーシート等にかかる</p> |
| <div data-bbox="239 313 422 448" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>外側防護服の内側に手を入れる</p> </div>  <p>外側防護服の表面に触れないよう内側に手を入れ、外側に丸めるように脱ぐ (内側防護服にも触れないよう注意)</p> | <div data-bbox="1133 313 1340 560" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>外側に触れないよう脱ぐ 外側防護服に破れ等があれば内側防護服も脱衣する</p> </div>  <div data-bbox="829 750 1045 884" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>脱衣した防護服等には触れないこと</p> </div> |
| <p>(ケ)再度、手指消毒(内側手袋)</p> | <p>(コ)ゴム紐をもって、マスクを外す</p> |
|  |  <p>マスクの表面に触れないよう ①首の後ろ②頭頂部の順番にゴムを外し、ゴムのみつかんで廃棄</p> |
| <p>(サ)キャップを脱ぐ</p> | <p>(シ)再度、手指消毒(内側手袋)</p> |
|  <p>頭頂部をつまんで外す</p> |  |

| | |
|--|--|
| <p>(ス)内側に触れないように手袋を脱ぐ</p> | <p>(ス)素手で外側に触らないように手袋を脱ぐ</p> |
|  <p>利き手</p> <p>利き手の手袋の外側をつかんで脱ぐ</p> |  <p>反対の手</p> <p>反対の手の手袋の内側に利き手の指先を入れ、外側に裏返すように脱ぐ 素手で手袋の外側に触れないこと</p> |
| <p>(セ)手指を消毒する</p> | <p>(ソ)移動用履物に履き替える</p> |
|  <p>指の間までしっかり消毒薬を拡げる</p> |  <p>防護服を2枚とも脱いだ場合は、新しい防護服を1枚着用する ※休憩時は1枚着用</p> |

ウ 清浄ゾーン

(ア) 洗顔、手洗い、うがい後、紙タオルを受け取り、顔等を拭き、紙タオルを廃棄する。

(イ) 手指を消毒する。長靴の内側まで汚れが入った場合には、足も入念に消毒を行う。

<作業間のトイレ休憩>

全身消毒後、防護服1枚・長靴・ゴーグル・マスク・キャップ等を脱衣し、内側防護服を1枚着用した状態で行う。休憩後は、着衣方法に従い着衣し、防疫作業に従事する。

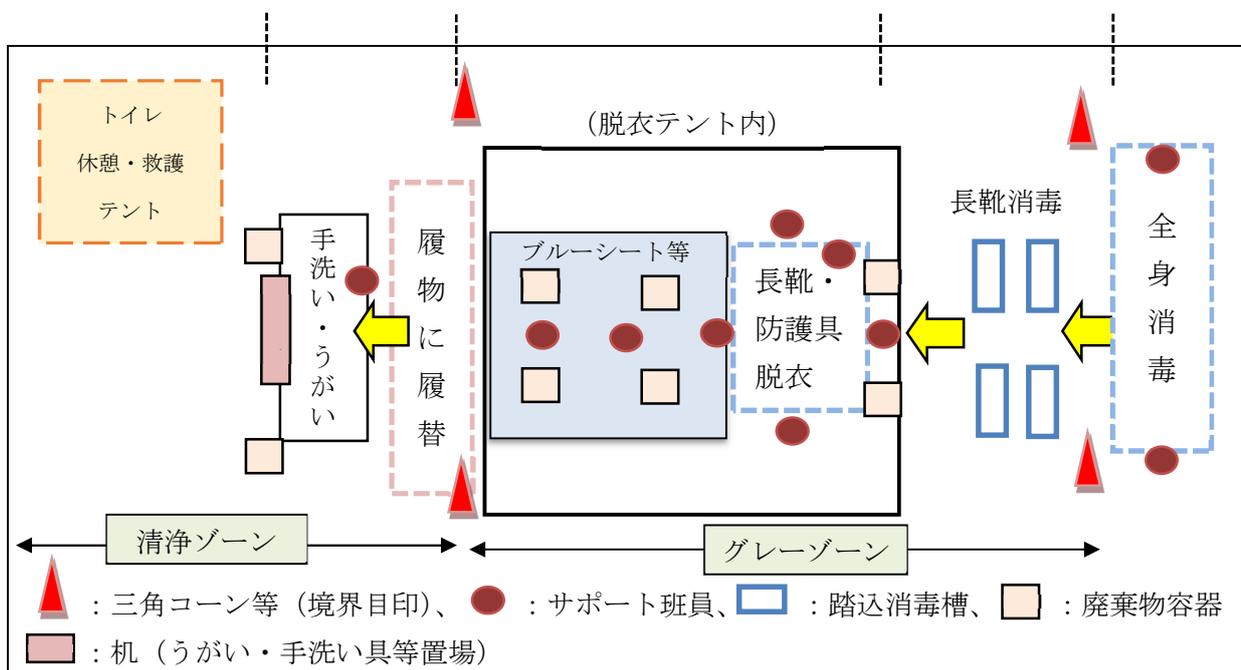


図6 テント基地における防護具脱衣動線

エ テント基地退出～バス乗車

(ア) テント基地退出時に防護服を脱ぐ

(イ) バス乗車前にブーツカバーを装着する

オ 集合場所

(ア) バス降車時にブーツカバーを脱ぐ

(イ) 手指消毒、移動用履物の消毒を行う。

(ウ) ビニール袋に入った私物を受け取る。

(エ) 解散後は寄り道をせず直帰し、入浴するとともに衣類はすぐに洗濯する。